


家庭で必要な備蓄品

現在、個人で必要な備蓄は1週間分と言われています。平常時から、1週間分の備蓄を用意しておきましょう。


食料 米、缶詰、レトルト食品、インスタント食品、飲料水(1人1日3リットルが目安)など



照明・情報 懐中電灯、ラジオ、乾電池(予備)など




応急医療品 家庭常備薬、包帯、ガーゼ、脱脂綿、三角巾、はさみ、とげ抜き、ピンセットなど




加熱器具 卓上コンロ、ガスボンベ(予備)、固形燃料など




日用品 マッチ、ライター、新聞紙、ロープ、ひも、粘着テープ、ペンチ、スコップ、ティッシュペーパー、ビニール袋、筆記用具、生理用品など



衣類 下着、くつ下、防寒具、レインコート、手袋、ハンカチ、タオル、毛布、タオルケット、シーツ、帽子など



貴重品 現金(10円硬貨も)、印かん、預金通帳、証書類、個人カード、各種カードなど



地震発生時の心得

揺れを感じたり、緊急地震速報を受けたときは、身の安全を最優先に行動しましょう。

- ・揺れを感じたら、テーブルなどの下に隠れ、身を守る
- ・外へ逃げるときは瓦やガラス

〈家の中では〉

- ・避難にエレベーターは使わない
- ・ブロッカー扉や自動販売機、電線などからすぐに離れて安全な場所へ避難する
- ・窓ガラス、瓦などの落下物

〈家の中の安全対策を〉

- ・地震がおきたとき、家の耐震性が十分でも落下物や転倒した家具、ガラスの破片などによって被害に遭うことがあります。家の中の被害を少なくするために、次のことに注意しましょう。
- ・家の中に逃げ場としての安全な空間を作る
- ・寝室、子どもやお年寄りのいる部屋には家具を置かない
- ・家具は倒れにくいように設置する
- ・安全に避難できるように出入口や通路には物を置かない

家族で話し合おう

災害はいつ起こるか分かりません。災害が起きて慌てないように、日ごろから準備したり、家族でよく話し合っておくことが大切です。

- ・連絡方法や避難場所の確認
 - ・防災用具などの確認
 - ・非常時持出品のチェック
 - ・安全な空間の確保
 - ・危険箇所のチェック
- 問 安全対策課 消防防災班
☎ 0475(70)0303

備えは万全ですか
9月1日は防災の日

日本は世界でも有数の地震国です。東日本大震災や熊本地震のような大地震により、家屋の倒壊や津波災害など大きな被害が発生することが考えられます。

- ・避難口を確認する
- ・火の始末を速やかに行う
- ・〈スロープやデパート、駅などでは〉
- ・揺れを感じたら、姿勢を低くし、頭を守る
- ・揺れが収まったら、むやみに移動せず、係員などの誘導に従う



いつやってくるか分からない災害
地域ぐるみで災害に備えよう!

9月24日(日) 防災訓練スケジュール等

～ 第一部 シェイクアウト訓練・津波避難訓練 ～

- ▶訓練時間=9時~9時50分
- ▶対象地区
- ・白里地区(北今泉、南今泉、四天木、細草、清水)
- ・福岡地区(下ヶ傍示、二之袋)
- ▶避難先
- ・徒歩・自転車で避難する方=津波浸水予想区域外、津波避難ビル(プラセル九十九里、オーシャンビュー白里ダイヤモンドマンション、白里小学校、白里中学校、浄化センター、津波避難タワー)
- ・バイク・車で避難する方=大網白里アリーナ

～ 第二部 防災体験コーナー ～

- ▶時間=10時~14時
- ▶会場=白里小学校

※訓練内容等は変更となる場合があります。

- 津波到達予想時刻(9時40分)までに津波浸水予想区域外や津波避難ビルに避難できない場合は、大網白里アリーナに車で避難してください。
- 徒歩や自転車での避難が困難な方および避難が困難な方の支援をする方は、車で大網白里アリーナに避難してください。

〈日程・内容〉

時刻	内 容	訓 練 行 動
9:00	●緊急地震速報放送 ●震度6の地震発生	シェイクアウト行動開始(①姿勢を低くし②体や頭を守り③揺れが収まるまでじっとする)。1分後、身の回りや家族、近所の安全確認。避難することを考え、避難荷物等を整える。
9:03	●大津波警報発表 ●緊急速報メールの送信	津波避難区域については、それぞれ安全を確保できる場所へ避難開始。近所への声掛け等共助による避難を心掛ける。
9:05	●避難指示発令 ●緊急速報メールの送信 ●消防団巡視開始	津波避難区域について、まだ避難開始できていない方は早急に避難開始。避難所等、津波警戒区域外に避難することが困難な場合は津波避難ビル等の高台に避難する。
9:20	●消防団は津波避難区域から避難	情報収集を行いながら(放送や緊急速報メール等)、避難行動を継続する。
9:40	●津波到達の放送	警報が解除されるまでは避難行動を続ける。身の安全を確保できた場合は、ほかの避難者の補助や家族・知人の身の安全を確認する。
9:50	●津波避難訓練終了の放送	津波避難訓練終了。第二部の防災体験コーナーに参加(本来は帰宅場所が帰宅できる状況か確認し、浸水、倒壊等で帰宅できない場合は避難生活の準備を行う)。

※防災行政無線やサイレン、緊急速報メールを使用しますので、実際の災害と間違えないようお願いいたします。
※交通ルール等を遵守して訓練へ参加してください。
※小雨決行

催 事 名	概 要
防災講演(体験談) 10:30~12:00	東日本大震災の被災地で活動した方を語り部としてお招きし、体験談や教訓等をお話しいたします。
救助・救出訓練 13:00~	はしご車による救助・救出訓練を行います。
水消火器による初期消火訓練	慌てず、騒がず、冷静に消火器が使えるよう使い方をマスターしましょう。
AEDの使い方訓練	いざというとき、正しく使用できるようAED(自動体外式除細動器)の使い方を学びましょう。
三角巾の使い方訓練	身近にあるもので初期の応急手当ができるよう、三角巾の使い方を学びましょう。
煙体験ハウス	煙の広がりや火よりも早く、本当に怖いのは煙であると言われています。煙で視界が奪われた場合でも、冷静に避難できるように訓練しておきましょう。
災害伝言ダイヤル体験コーナー	被災地への通信がつながりにくい状況になった場合に開設される声の伝言板。素早く安否を伝えるため、利用方法を体験しましょう。
防災士会の防災体験コーナー(小学生向け)	小学生向けの防災体験(防災紙芝居、ロープワーク等)を行います。
多文化共生(通訳)	防災訓練会場内で、災害時の対応等外国人住民の支援を行います。
災害救護用包装食袋(ハイゼックス)炊き出し等	簡単に米が炊け、箸やスプーンなどで食べられるハイゼックスを使った炊き出し訓練を行います。備蓄用常温レトルトカレーと一緒に試食してください。炊き出し体験やサバイバルフーズ(シチュー)の炊き出し訓練も行います。
自衛隊野外炊具による炊き出し	野外で大量の調理を行うことができる野外炊具を使って、小学生・幼稚園児用のカレーライスを作ります。
災害時用自動販売機設置	災害時に使用できる自動販売機を設置します。
消防車両・自衛隊車両展示	消防車両・自衛隊車両を展示します。

※その他、受付で防災グッズ配布、催事内容の案内を実施します。